

全体テーマ 「児童生徒の学びを深める授業づくり」～「伝える力」を培うために～

学部テーマ 『「伝えたい」気持ちを育て、伝える手段や相手を広げる授業づくり 』

学級名 小学部4年

授業日	10月31日(月) 3校時	取り扱う教科名・段階等	【単元計画】			
教科等名	生活単元学習	生活科1段階 ク	活動内容(教科)	知・技	思・判・表	学・人
単元(題材名)	買い物へ行こう	国語科2段階 Aウ	お金を試してみよう(3時間) (生活科)	○	○	
単元(題材)の目標(単元・題材を通しての児童生徒の目指す姿)			買う物と買う際の言葉を考えよう (1時間)(国語科)	○	○	○
生活科 ク 金銭の扱い (1)金種や金銭の扱い方などに関心をもつことができる。 (2)買い物ごっこの中で、教師と一緒に金銭を扱うことができる。 (3)買う物を探したり、財布からお金を出そうとしたりしている。			買い物ごっこをしてみよう(3時間) (生活科)(国語科) 本時1時間目	○	○	○
国語科 聞くこと、話すこと (1)話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ言葉が気持ちや要求を表すことを知ることができる。 (2)買いたい物を選んで、写真や文字カードなどで伝えようとするができる。 (3)教師の問いかけに、カードを選ぶなどして答えようとしている。			買い物へ行こう(2時間)(校外学習)	○	○	○
□各教科の「見方・考え方」を働かせるための「しかけ」(本時)			選んで買ってみよう(2時間)	○	○	○
P	□取り扱う金種は硬貨とし、実際のもを使用することで、違いに気づけるようにする。 □使用する金種は、10円、100円に限定することで、判断しやすくする。 □財布から出す金銭については、硬貨の絵の視覚支援を用いる。出した金額に合わせて、教師が声に出して確認できるようにする。 □買い物ごっこで使用する物は、できるだけ実物を使用する。 実際の買い物に近い雰囲気を感じられるよう、買い物かごや店舗のロゴなどを取り入れる。 □買う物を決める際には、写真を用いて2つの選択肢から選ぶようにする。 □児童が教師に伝えること、店員に伝えることが明確に分かるよう、文字カードを見たり、選んだりして判断できるようにする。		自動販売機を使ってみよう(2時間) (生活科)	○	○	
			自動販売機で買ってみよう(2時間) (校外学習)	○	○	○
			【本時の流れ】			
			1 はじめのあいさつ			
			2 買い物の仕方を確認 ・買う物と、買い物の仕方を確認する。			
			3 買い物ごっこをしよう(知・技)(思判表)(主) ・買う物を探す。お金を出す。お金を払う。			
			4 振り返り、おわりのあいさつ			
◎本時の目標(学びの履歴を踏まえた各教科等の指導目標)			○自立活動の視点を踏まえた「配慮・手立て」			
D	「知識及び技能」 ◎手がかりをもとに財布から出す金種が分かる。	「思考力・判断力・表現力等」 ◎買い物の仕方が分かり、教師と一緒に金額を出すことができる。 ◎会計の際に、教師と一緒に文字カードで伝えようとするができる。	「主体的に学習に取り組む態度」 ◎買い物ごっこに関心を持ち、活動に参加したり、買いたい物を選んだりしようとしている。 ◎「ください。」などと、カードを出して伝えようとする。			
	○活動内容や状況を伝え、見通しがもてるようにする。(心理的安定) ○児童の活動に寄り添い、安心して活動できる状況をつくる。(心理的安定) ○教師の提示は、分かりやすく短くし理解がしやすいようにする。(コミュニケーション) ○伝えることや、話すべきことについて、文字カードを用意して選択することができるようにする。(コミュニケーション) ○硬貨の絵を記した視覚支援を提示し、どれだけ出せばよいのか判断しやすくする。(環境の把握) ○教材の配置を明確にし、活動が理解しやすいようにする。(環境の把握)					